

牧之原市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメントの結果と回答

(企画政策部 地域振興課)

- 1 募集の期間 令和5年2月17日（金曜日）から令和5年3月19日（日曜日）まで 31日間
- 2 実施方法 市HPへの掲載、市LINEによる周知
- 3 結果 3名 11件
- 4 意見と回答

| 意見 1 | 意見 1 に対する回答 |
|---|---|
| <p>案は、どうしても車ありきになっているように感じました。</p> <p>相良榛原へと二股に別れるのは良いのですが、<u>①インターチェンジではなく、その先のそれぞれの最寄り駅を起点に考えて、相良地域は金谷駅からインターチェンジ経由の相良営業所へ、榛原地域は島田駅を起点に考えて元榛原営業所への巡回路線バスを活発にするのはどうでしょうか？</u></p> <p>高齢者が増える中、運転手さんもタクシーも減っています。バス(マイクロバス？もう、市民のボランティアで最初は5人乗りでも、8~10人乗りのワゴン車のサイズでも)公共交通の路線の拡充をしない事には、特に目立った産業も祭りもない牧之原市に今後の発展はなく、人口も減り続けてしまうのではないのでしょうか。</p> <p>山手線のように10分毎が理想ですが、それは無理でも、東海道線のように<u>②早朝から深夜まで20分くらい待てば次が来る</u></p> | <p>(計画案の該当箇所) P39 事業2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編(幹線軸(斜面部))</p> <p>① ご意見の「JR駅と両市街地を結ぶ巡回路線」については、他市との調整や、延長距離が増えることでの市負担の増額が見込まれるため、慎重な検討が必要となります。</p> <p>現時点では、牧之原市都市計画マスタープランや牧之原市第3次総合計画の「富士山型ネットワーク」に基づき、高台エリアのバス停を結節点とすることで、いくつかの方面の移動を選択できる利便性と効率性を重視しております。</p> <p>なお、広域性や移動需要を考慮し、通勤、通学時間帯の便を中心に、市街地とJR駅への直行便は維持する方向で検討いたします。</p> <p>JR駅までの移動需要が減る日中時間帯の、両市街地と牧之原ICの高台エリアを結ぶ経路については、巡回型路線を含め、地元の皆様</p> |

ような事になれば、高校生も通学しやすいでしょうし、公共交通機関を利用する個人の観光客も増えるように思います。

③主要な停留所に駐車場も整備したなら、家から通勤通学を選択する人も増え人口の流出も減るように思います。乗車場所は決まっていますが、降車場所はその路線内なら自由でも良いなら更にいいですね。

もちろん、計画案にもあるような、落居から150号線沿いに進み、さざんか、榛原総合病院に繋がる海岸線の路線は必要だと思います。(吉田町まで伸ばすのかは、素人なのでわかりませんが、乗り換え停留所が島田駅からの路線に入るのなら不要になるかとも思ったりしました。)

いずれにせよ、乗り換えしてでも、誰もが車がなくても、なんとか生活できるようになってほしいです。

④イメージとしては、駅からと海岸線の巡回車の大きな円が3つ、相良榛原各地域内だけを巡る小さな円がそれぞれ1つか2つできたらいいなと思いました。

理想は高くても、少子高齢化は進み、地震津波の事もあり産業誘致も難しく、発展する事が無理なら、こんなに温暖な地域は他にありません。老若男女、人もペットも誰もが住みやすい街をとことん追求して整備に徹するのも良いのでは、などと思っています。

と検討いたします。

② 特急静岡相良線は、多い時間帯では5分間隔、日中でも20分間隔で運行していますが、需要が少ないその他の路線での高頻度の運行は、運転手の手配、経費、費用対効果等の面から難しい状況です。

③ 駐車場については適地の確保、民間の月極駐車場への影響等を考慮し、現時点で整備予定はありませんが、今後のバス路線再編の中で、必要性を含め検討いたします。

④ 駅からと海岸線の「大きな円」については、①のとおりです。各地域の「小さな円」については、高台エリアへの路線接続の中で、巡回型路線を含め、地元の皆様と検討いたします。

(対応)

P39の【具体的な施策】2点目に「巡回型を含め」を加筆いたします。

| 意見 2 | 意見 2 に対する回答 |
|---|---|
| <p>先日、ガイアの夜明けという番組で知ったのですが 定額制の乗り合いタクシーについて取り上げられていました。</p> <p>都内は、車より公共の乗り物のほうが便利ですが、そのタクシーは、①<u>スマホで予約、最寄りの乗り場まで来てくれる</u>というものでした。</p> <p><u>交通が不便な牧之原市にも、こういうものがあれば学生さんを始め、事情があって運転ができない方、高齢者にもいいなあと思って見てました。</u>ただ、携帯を持っていない高齢者もいるので、そこは電話予約が必要だな、と思いました。</p> <p>年々、高齢者による事故を心配していますが 当の本人は、まだまだ自分は大丈夫と思っているそれが一番怖いですよ。私はまだ 50 代ですが、自分が年を重ねた時や、運転ができなくなった状況になったらどうなるかと交通の不便さを心配しています。自分で運転できなくても、乗り合いタクシーがあることで引きこもりにならないような環境を作って欲しいと思っています。</p> <p>現実的には、車を維持するほうがコスト的にも高くつきます。②<u>車を辞めて乗り合いが発達すれば、個人の維持費も下がりますし、地球環境にもいいのではないのでしょうか。</u>③<u>よその県ではどんな取り組みをしているのか情報を集め、専門家を入れて検討して欲しいな、</u>と思います。</p> | <p>(計画案の該当箇所)</p> <p>P42 事業 4：高齢者等への移動手段の提供</p> <p>P49、P50 事業 10：自動運転技術などの DX 化や ICT を活用した取組の推進</p> <p>① 事業 10 で、タクシーの予約方法等の ICT 化など、交通分野のデジタル化の調査・研究を進めることとしています。ただし、新たな設備投資が必要となりますので、将来的な取組として市と事業者で検討いたします。</p> <p>② 全域導入が完了している乗合タクシーの利用促進を図り、自家用車からの転換を促します。</p> <p>③ 市の公共交通を協議する「牧之原市地域公共交通会議」において、他市の事例や先進的な取組について調査、研究し、公共交通の充実を図ります。</p> <p>(対応)</p> <p>計画案の変更はいたしません、ご意見を参考に推進してまいります。</p> |

| 意見 3 | 意見 3 に対する回答 |
|---|--|
| <p>基本方針 1 の具体的な施策について</p> <p>①特急静岡相良線ほかすべての路線バスを、静波区細江区では山の手幹線経路とすることで、市街地居住者の利便性とバスのスピードアップをはかる。加えて、特急の停車バス停を深谷橋内山間に増設する。</p> <p>②特急静岡相良線の榛原総合病院への全時間帯乗り入れと、榛原総合病院駐車場の有料化でパークアンドライドを促進する。</p> <p>③相良御前崎線を通学時間帯(朝夕)に静波海岸入り口ないしは榛原総合病院へ延伸する</p> <p>基本方針 2 および 3 の具体的な施策について</p> <p>④80 条バス(自家用有償旅客運送)をになう NPO 法人等の育成・支援事業の創設</p> | <p>(計画案の該当箇所)</p> <p>P37～P38 事業 1：沿岸部の路線の維持・再編(幹線軸(裾野部))</p> <p>P48 事業 9：移住定住、子育て支援につながる取組の推進</p> <p>P51 事業 11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化</p> <p>① 既存バス停周辺のバス利用者への影響や、速達性を踏まえたバス停増設といった課題があるため、道路整備状況等を踏まえ、バス事業者とともに最適な運行内容を検討いたします。</p> <p>② 榛原総合病院への乗り入れについては、現在は速達性の観点から日中時間帯のみとなっているため、事業 1 において乗り入れ便の増便を検討し、パークアンドライド駐車場は、榛原総合病院の意向を確認した上で検討いたします。</p> <p>③ 事業 9 において高校生のスムーズな通学の確保に取り組むこととしており、ご意見にある御前崎、地頭方方面の自主運行バスの榛原方面への延伸を含め検討いたします。</p> <p>④ NPO 法人等の育成については、将来的に交通事業者の運転手不足が深刻となり、現在の路線の維持が困難となる事態となれば、新たな担い手として検討する必要があるため、事業 11 において、事例の調査・研究を進めることといたします。</p> <p>(対応)</p> <p>P51 の【具体的な施策】2 点目に「～推進するとともに、NPO 法人による輸送等の新たな担い手事例の調査・研究を進めます」を加筆いたします。</p> |